

平和への誓い

広島に原子爆弾が投下されて五十年、その大きな節目の年に、私たちは、世界の都市から、この被爆した街、広島で開かれている「こども平和のつどい」に参加し、多くのことを学びました。

あの日、一瞬^{いっしゆん}にして亡^なくなった人たち、救いを求め、苦しみながら亡くなった人たち。その姿を思うと、核兵器や戦争の恐ろしさ、残酷^{ざんこく}さに、二度と広島^{ひろしま}の悲劇を繰り返してはならないという気持ちが強く胸にせまってきました。

現在、地球上のある地域では、戦争や飢餓などのために、たくさんの人たちが亡くなったり、傷ついたりしています。また、地球環境の破壊による被害もたくさん出ています。

私たちは、世界のすべての人たちが平和で安心して暮らせるよう今何をしなければならないか、また何ができるかについて考えてきました。

その中で、平和を築くためには、身近な友達への思いやりや優^{やさ}しさを持つことが大切であり、さらに世界の人たちと仲良くし、もっと力を合わせていかなければならないことを学びました。

そのため、言葉や考え方の違^{ちが}いをこえ、お互^{たが}いの立場を理解し合い、尊重し合うことの大切さについて気づくことができました。

無限に広がる宇宙。その中に美しく青く光り輝^{かがや}く私たちの地球。このかけがえのない地球の未来のために、私たちは「こども平和のつどい」で知り合ったすばらしい仲間とともに、広島で学んだことを語り継ぎ、新たな地球平和をめざして努力していくことを誓います。

平成 7 年（1995 年）8 月 6 日

子ども代表

広島市立志屋小学校 6 年

広島市立草津小学校 6 年

く ぼ
久保
やまぐち
山口

み ゆ き
美幸
けんじ
賢二